

脆弱性対策情報データベース

JVN iPedia の登録状況

[2025 年第 4 四半期（10 月～12 月）]

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況について

本レポートでは、2025 年 10 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの間に JVN iPedia で登録をした脆弱性対策情報の統計及び事例について紹介しています。

目次

1. 2025 年第 4 四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況	- 2 -
1-1. 脆弱性対策情報の登録状況	- 2 -
2. JVN iPedia の登録データ分類.....	- 3 -
2-1. 脆弱性の種類別件数	- 3 -
2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合.....	- 4 -
2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種類別件数	- 6 -
2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況	- 7 -
3. 脆弱性対策情報の活用状況	- 8 -

1. 2025年第4四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況

脆弱性対策情報データベース「JVNI iPedia (<https://jvndb.jvn.jp/>)」は、ソフトウェア製品に関する脆弱性対策情報を2007年4月25日から日本語で公開しています。システム管理者が迅速に脆弱性対策を行えるよう、1) 国内のソフトウェア開発者が公開した脆弱性対策情報、2) 脆弱性対策情報ポータルサイト JVN^{(*)1} で公表した脆弱性対策情報、3) 米国国立標準技術研究所 NIST^{(*)2} の脆弱性データベース「NVD^{(*)3}」が公開した脆弱性対策情報を集約、翻訳しています。

1-1. 脆弱性対策情報の登録状況

～脆弱性対策情報の登録件数の累計は 265,431 件～

2025年第4四半期（2025年10月1日から12月31日まで）にJVNI iPedia日本語版へ登録した脆弱性対策情報は表1-1の通りとなり、2007年4月25日にJVNI iPediaの公開を開始してから本四半期までの、脆弱性対策情報の登録件数の累計は 265,431 件になりました（表1-1、図1-1）。

また、JVNI iPedia英語版へ登録した脆弱性対策情報は表1-1の通り、累計で3,121件になりました。

表1-1. 2025年第4四半期の登録件数

	情報の収集元	登録件数	累計件数
日本語版	国内製品開発者	0 件	291 件
	JVN	407 件	17,313 件
	NVD	11,257 件	247,827 件
	計	11,664 件	265,431 件
英語版	国内製品開発者	0 件	294 件
	JVN	50 件	2,827 件
	計	50 件	3,121 件

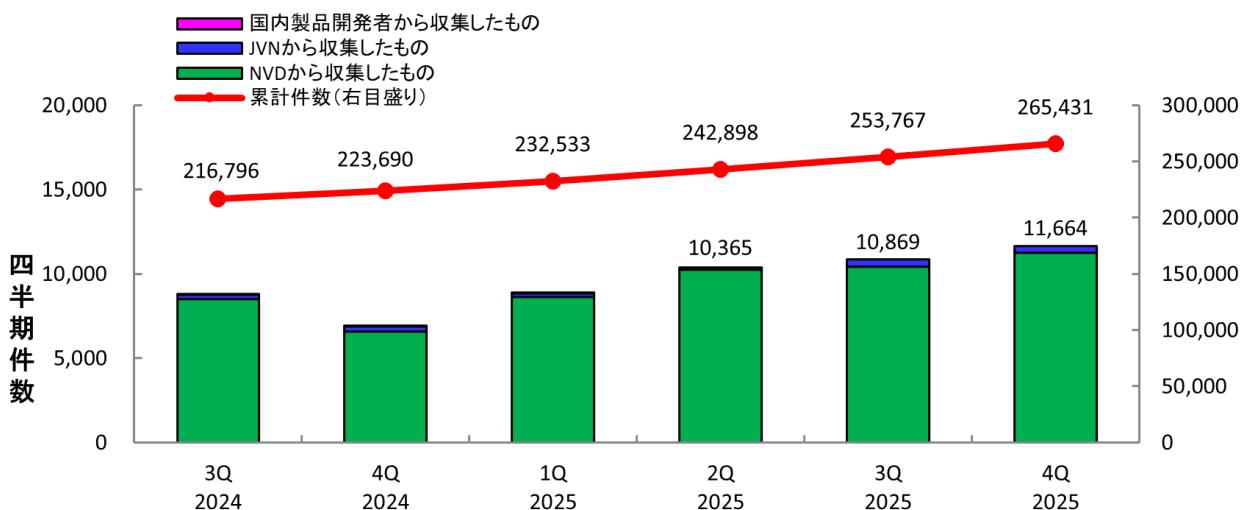


図1-1. JVNI iPediaの登録件数の四半期別推移

(*)1) Japan Vulnerability Notes: 脆弱性対策情報ポータルサイト。製品開発者の脆弱性への対応状況を公開し、システムのセキュリティ対策を支援しています。IPA、JPCERT/CCが共同で運営しています。 <https://jvn.jp>

(*)2) National Institute of Standards and Technology: 米国国立標準技術研究所。米国の科学技術分野における計測と標準に関する研究を行う機関: <https://www.nist.gov>

(*)3) National Vulnerability Database: NISTが運営する脆弱性データベース。 <https://nvd.nist.gov>

2. JVN iPedia の登録データ分類

2-1. 脆弱性の種類別件数

図 2-1 は、2025 年第 4 四半期（10 月～12 月）に JVN iPedia へ登録した脆弱性対策情報を、共通脆弱性タイプ一覧(CWE)によって分類し、件数を集計したものです。

集計結果は件数が多い順に、CWE-79（クロスサイトスクリプティング）が 1,215 件、CWE-74（インジェクション）が 593 件、CWE-476（NULL ポインタデリファレンス）が 588 件、CWE-416（解放済みメモリの使用）が 421 件、CWE-401（有効期限後のメモリの解放の欠如）が 333 件でした。最も件数の多かった CWE-79（クロスサイトスクリプティング）は、悪用されると偽のウェブページが表示されたり、情報が漏えいしたりするおそれがあります。

製品開発者は、ソフトウェアの企画・設計段階から、脆弱性の低減に努めることが求められます。IPA ではそのための資料やツールとして、開発者が実施すべき脆弱性対処をまとめた資料「[脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド](#) ^{(*)4}」、開発者や運営者がセキュリティを考慮したウェブサイトを作成するための資料「[安全なウェブサイトの作り方](#) ^{(*)5}」、脆弱性の仕組みを実習形式や演習機能で学ぶことができる脆弱性体験学習ツール「[AppGoat](#) ^{(*)6}」などを公開しています。

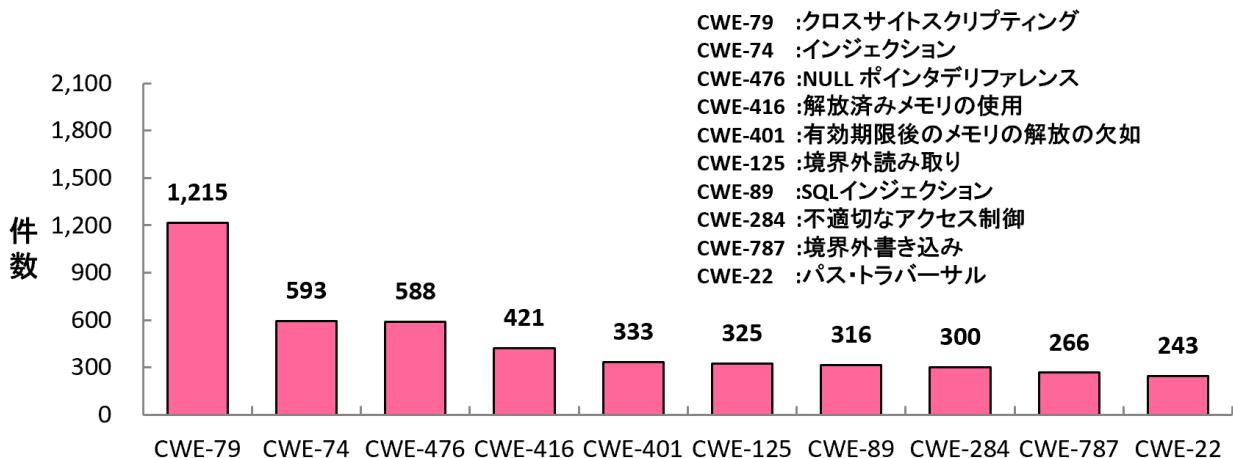


図 2-1. 2025 年第 4 四半期に登録された脆弱性の種類別件数

^{(*)4} IPA : 「脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド」

<https://www.ipa.go.jp/security/guide/vuln/forvendor.html>

^{(*)5} IPA : 「安全なウェブサイトの作り方」

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity/about.html>

^{(*)6} IPA : 「脆弱性体験学習ツール AppGoat」

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/appgoat/index.html>

2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合

図 2-2 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv2 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2025 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、レベル 3 が全体の 39.3%、レベル 2 が 52.5%、レベル 1 が 8.2% となっており、情報の漏えいや改ざんされるような危険度が高い脅威であるレベル 2 以上が 91.8% を占めています。

なお、2024 年より JVN iPedia における CVSSv2 の登録件数が大幅に減少した理由は、JVNI iPedia の情報収集元である NVD において CVSSv2 の評価が積極的には行われていない^(*) ためです。

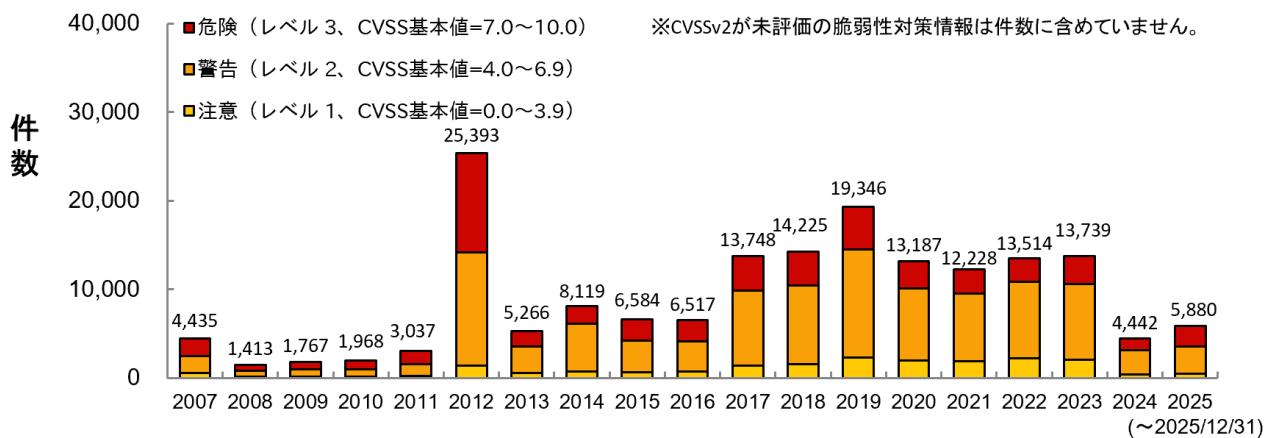


図 2-2. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv2)

^(*) NIST: 「Retirement of CVSS v2」
<https://nvd.nist.gov/general/news/retire-cvss-v2>

図 2-3 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv3 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2025 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、「緊急」が全体の 14.7%、「重要」が 35.5%、「警告」が 47.8%、「注意」が 2.0% となっています。

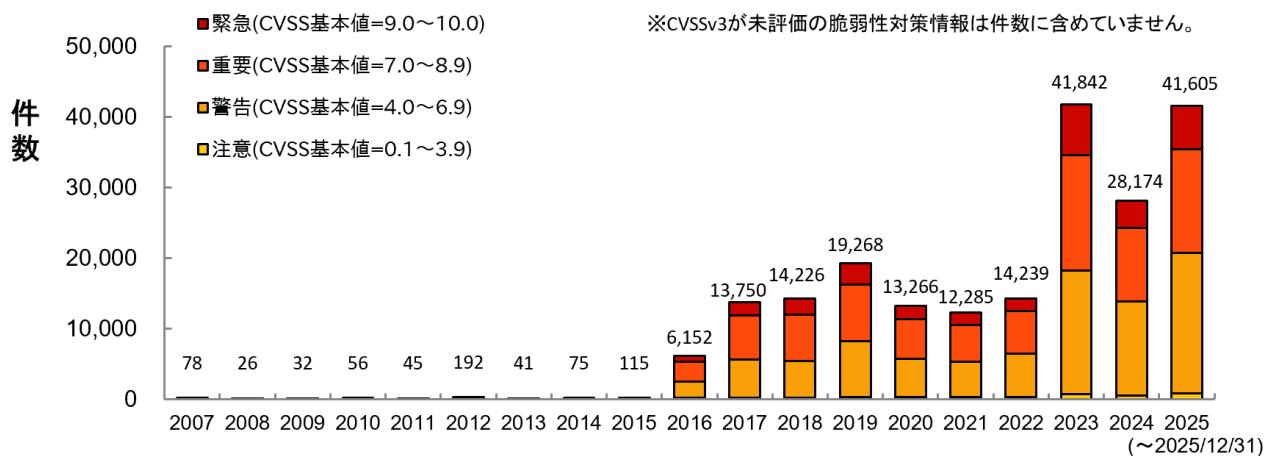


図 2-3. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv3)

既知の脆弱性による脅威を回避するため、製品開発者は常日頃から新たに報告される脆弱性対策情報に注意を払うと共に、**脆弱性が解消されている製品へのバージョンアップやアップデート**などを速やかに行ってください。

なお、新たに登録した JVN iPedia の情報を、RSS 形式や XML 形式^(*) で公開しています。

^(*) IPA : 「JVN iPedia データフィード」
<https://jvndb.jvn.jp/ja/feed/>

2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種類別件数

図 2-4 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報をソフトウェア製品の種類別に件数を集計し、年次でその推移を示したものです。2025 年で最も多い種別は「アプリケーション」に関する脆弱性対策情報で、2025 年の件数全件の約 67.0% (27,963 件／全 41,742 件) を占めています。

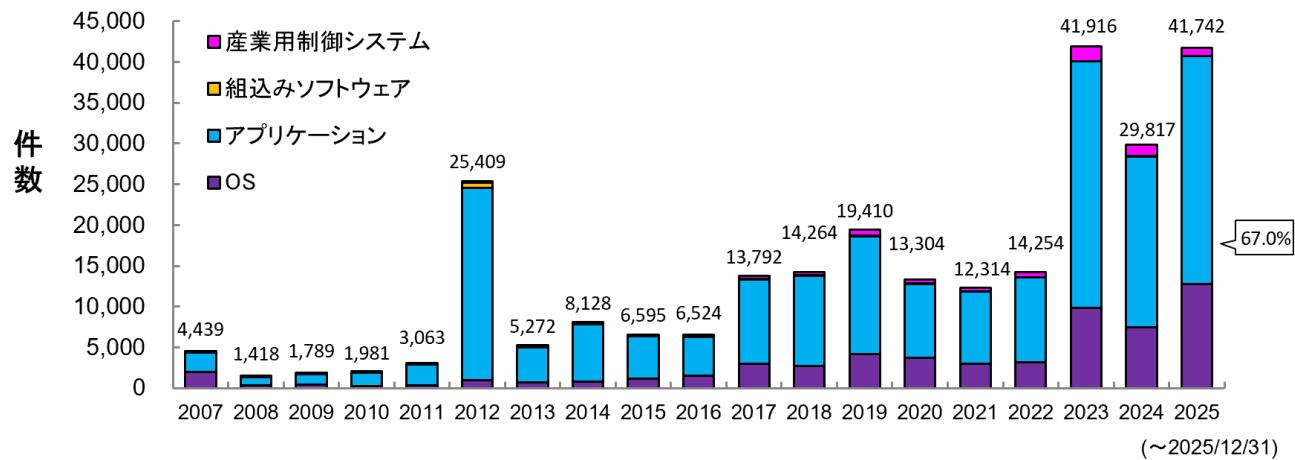


図 2-4. 脆弱性対策情報を公表した製品の種類別件数の公開年別推移

図 2-5 は重要インフラなどで利用される、産業用制御システムに関する脆弱性対策情報の件数を集計し、年次でその推移を示したものです。これまでに累計で 8,265 件を登録しています。

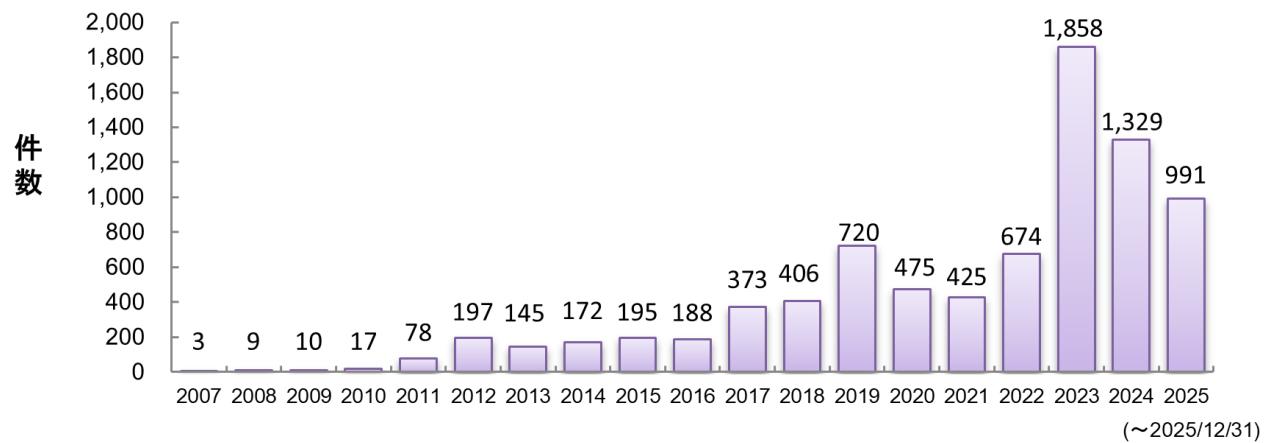


図 2-5. JVN iPedia 登録件数（産業用制御システムのみ抽出）

2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況

表 2-1 は 2025 年第 4 四半期（10 月～12 月）に JVN iPedia へ登録された脆弱性対策情報の中で登録件数が多かった製品上位 20 位を示したものです。

本四半期においては Linux Kernel が 1 位となりました。2 位以降はクアルコム製品や、Linux、およびマイクロソフトの OS がランクインをしました。

JVN iPedia は、表に記載されている製品以外にも幅広い脆弱性対策情報を登録公開しています。製品の利用者や開発者は、自組織などで使用しているソフトウェアの脆弱性対策情報を迅速に入手し、効率的な対策に役立ててください^(*)。

表 2-1. 製品別 JVN iPedia の脆弱性対策情報登録件数 上位 20 位 [2025 年 10 月～2025 年 12 月]

順位	カテゴリ	製品名（ベンダ名）	登録件数
1	OS	Linux Kernel (Linux)	3,254
2	ファームウェア	Qualcomm component (クアルコム)	1,752
3	OS	Debian GNU/Linux (Linux)	483
4	OS	Microsoft Windows Server 2025 (マイクロソフト)	245
5	OS	Microsoft Windows 11 (マイクロソフト)	238
6	OS	Microsoft Windows Server 2022 (マイクロソフト)	227
7	OS	Microsoft Windows 10 (マイクロソフト)	198
8	OS	Microsoft Windows Server 2019 (マイクロソフト)	197
9	OS	Microsoft Windows Server 2016 (マイクロソフト)	155
10	OS	Android (Google)	145
11	DXP	Digital Experience Platform (Liferay)	142
12	OS	macOS (アップル)	135
13	CMS	Adobe Experience Manager (アドビ)	118
14	OS	Microsoft Windows Server 2012 (マイクロソフト)	111
15	OS	iOS (アップル)	92
15	OS	iPadOS (アップル)	92
17	ブラウザ	Google Chrome (Google)	91
18	OS	Microsoft Windows Server 2008 (マイクロソフト)	88
19	サービス管理	Nagios XI (Nagios)	80
20	業務用ソフトウェア	Mattermost Server (Mattermost)	75

^(*) IPA：「脆弱性対策の効果的な進め方（実践編）」
<https://www.ipa.go.jp/security/reports/technicalwatch/20150331.html>

3. 脆弱性対策情報の活用状況

表 3-1 は 2025 年第 4 四半期（10 月～12 月）にアクセスが多かった JVN iPedia の脆弱性対策情報の上位 20 位を示したものです。

本四半期は、上位 20 位すべてが脆弱性対策情報ポータルサイト JVN で公開された脆弱性対策情報でした。

表 3-1. JVN iPedia の脆弱性対策情報へのアクセス 上位 20 位 [2025 年 10 月～2025 年 12 月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス数
1	JVNDB-2024-014825 WordPress 用プラグイン My WP Customize Admin/Frontend におけるクロスサイトスクリピティングの脆弱性	-	4.8	2024 年 12 月 16 日	7,160
2	JVNDB-2024-000121 WordPress 用プラグイン WP Admin UI Customize におけるクロスサイトスクリピティングの脆弱性	-	4.8	2024 年 11 月 26 日	6,277
3	JVNDB-2024-015471 トレンドマイクロ製 Deep Security Agent (Windows 版) におけるファイル検索パスの制御不備の脆弱性	-	-	2024 年 12 月 25 日	5,604
4	JVNDB-2024-000118 WordPress 用プラグイン VK All in One Expansion Unit におけるクロスサイトスクリピティングの脆弱性	-	4.8	2024 年 11 月 13 日	5,534
5	JVNDB-2020-005056 jQuery におけるクロスサイトスクリピティングの脆弱性	4.3	6.1	2020 年 6 月 5 日	5,005
6	JVNDB-2025-000001 プラネックス製 MZK-DP300N におけるクロスサイトスクリピティングの脆弱性	-	4.8	2025 年 1 月 8 日	4,967
7	JVNDB-2024-015393 Trend Micro Apex One および Apex One SaaS における複数の脆弱性 (2024 年 12 月)	-	-	2024 年 12 月 23 日	4,696
8	JVNDB-2024-000128 シャープ製ルータ製品における複数の脆弱性	-	9.8	2024 年 12 月 16 日	4,520
9	JVNDB-2024-014918 Hitachi Infrastructure Analytics Advisor および Hitachi Ops Center Analyzer における認証バイパスの脆弱性	-	9.4	2024 年 12 月 17 日	4,455
10	JVNDB-2025-000009 WordPress 用プラグイン Activity Log WinterLock におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	-	4.3	2025 年 2 月 4 日	4,428
11	JVNDB-2025-000004 アイ・オー・データ製ルーターUD-LT2 における複数の脆弱性	-	7.5	2025 年 1 月 22 日	4,402

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス数
12	JVNDB-2024-000127 Android アプリ「少年ジャンプ+ 人気漫画が読める雑誌アプリ」におけるアクセス制限不備の脆弱性	-	3.3	2024年 12月16日	4,360
13	JVNDB-2023-000085 スマートフォンアプリ「すかいらーくアプリ」における2つのアクセス制限不備の脆弱性	4.3	3.6	2023年 8月24日	4,167
14	JVNDB-2025-000006 WordPress 用プラグイン Simple Image Sizes におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	-	4.8	2025年 1月28日	4,125
15	JVNDB-2025-001027 Linux Ratfor におけるスタックベースのバッファオーバーフローの脆弱性	-	7.0	2025年 1月16日	3,875
16	JVNDB-2024-014793 FXC 製 AE1021 および AE1021PE における複数の脆弱性	-	7.5	2024年 12月16日	3,785
17	JVNDB-2024-000078 エレコム製無線 LAN ルーターにおける複数の脆弱性	-	6.8	2024年 7月30日	3,689
18	JVNDB-2024-000124 UNIVERGE IX/IX-R/IX-V シリーズルータにおける複数の脆弱性	-	7.2	2024年 12月2日	3,618
19	JVNDB-2024-014079 トレンドマイクロ製 Deep Security Agent (Windows 版) および Deep Security Notifier における OS コマンドインジェクションの脆弱性	-	-	2024年 12月6日	3,595
20	JVNDB-2025-000003 FortiWeb における SQL インジェクションの脆弱性	-	2.7	2025年 1月21日	3,544

表3-2は国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報でアクセスの多かった上位5位を示しています。

表3-2. 国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報へのアクセス上位5位 [2025年10月～2025年12月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス数
1	JVNDB-2024-014918 Hitachi Infrastructure Analytics Advisor および Hitachi Ops Center Analyzer における認証バイパスの脆弱性	-	9.4	2024年12月17日	4,455
2	JVNDB-2025-001244 JP1/ServerConductor/Deployment Manager におけるクリックジャッキング脆弱性	-	-	2025年1月30日	2,541
3	JVNDB-2020-018328 Web Rehosting サービスにおいて複数ウェブサイトに跨ったコンテンツの改ざん・盗聴等が行われる問題	-	-	2024年9月11日	2,490
4	JVNDB-2024-009498 Cosminexus における脆弱性	-	-	2024年10月1日	1,160
5	JVNDB-2024-002961 Cosminexus Component Container における情報露出の脆弱性	-	5.6	2024年3月13日	435